

始まった新たな薬局認定制度

現場薬剤師の受け止め方は

改正薬機法に基づく新たな薬局認定制度が8月から始まった。地域の医療機関と一体的に継続的な情報連携を行うことで質の高い薬学的管理を実現する「地域連携薬局」と、癌等の患者に対して他施設と連携しながら高度な薬学管理や特殊な調剤を

行う「専門医療機関連携薬局」の二つを各都道府県の知事が認定するもの。法に紐づいた制度としてこれからの薬局のあり方を示しているが、現場の薬局薬剤師は「どう受け止めているのか。認定を取得した薬局を取材した(19〜21ページ)」

将来の薬局選別を意識

進行堂薬局本店(大阪市)

8月1日付でいち早く地域連携薬局の認定を取得した進行堂薬局本店。

同日付での認定取得は東住吉区では2薬局のみ。進行堂取締役で本店の管理薬剤師を務める竹内由香里氏は「昨年、地域連携薬局という枠組みが設けられることが決まった時から、認定を取得しようと考えていた」と振り返る。

同日付での認定取得は「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

比較的小規模な薬局に取得できた。これまでに調剤基本料の地域支援体制加算の体制を整備し、健康サポート薬局の認定も取得した。地域連携薬局の認定要件の多くはこれらの

要件と重なるため、大きな苦勞はなかった。膨大な資料の提出が求められる健康サポート薬局の認定取得に比べると、必要な申請資料の量は半分以下で済んだという。

要件の一つとして設定された他の医療機関への月平均30回以上の情報提供実績が認定取得のハードルになると言われているが、「普通に薬局薬剤師の仕事をしていれば、疑義照会以外に1日数件の

認定取得にあたって新たに取組んだことは、無菌調製に対応できる体制の整備だ。大阪府薬剤師会の無菌調製に関する研修をオンラインで受けた。無菌調製設備を持つ大阪府薬の会営業局と契約を結び、必要な時にはその設備を利用できる体制を整えた。

もともと現状では無菌調製が必要な処方箋を必要とする機会は少ない。それでも今後、クリーンベンチの購入を検討したいという。「100万円くらいかかれば取れないが、他店舗や地域の薬局薬剤師がそれで研修できる。地域全体の底上げに役立つ」と由香里氏は話す。

日用品のエリアを縮小し、処方箋調剤に特化する方向性を模索したことがあった。しかし、父の和良氏はそのエリアはそのまま残すよう主張し、ゆずらなかった。「今にして思えばそれが良かった。売上の規模はそれほど大きくはないが、一定の額が見込めるため、薬局の経営基盤が安定する」と由香里氏は語る。

処方箋調剤と一般用医薬品販売の両立による相乗効果もある。例えば、一般用医薬品を購入しよるお客様は、成分の重複や相互作用を避けた一般用医薬品を推奨できる。一般用医薬品を販売した顧客が院外処方箋を持ってきてくれるようになったり、その逆もある。

医薬品の進捗とともに必要枚数は増えてきた。現在は進行堂薬局本店で月間約1000枚の処方箋を応需する。その半分弱は高齢者施設に入居する患者の処方箋だ。

地域密着型の薬局を展開

進行堂薬局の出発点は、由香里氏の祖父が薬種商として約90年前に現地に開業した薬店だ。約30年前、薬局に業態を転換。3代目となる由香里氏が病院勤務を経て2006年から進行堂薬局本店で働き始めた。様々な人とのつながりで薬局を増やし、現在は近鉄針中野駅から隣の矢田駅までの直徑1キロほどのエリアに計5薬局を展開している。

進行堂薬局本店には日々、顔なじみの地域の住民が気軽に立ち寄る。由香里氏の父で大阪府医薬品登録販売者協会副会長も務める竹内和良

の連絡はしている」と由香里氏は話す。実際に、高齢者施設に入居する患者の処方設計に関する連絡や、病院に送信したトレーシングレポート、病院から送られてきた退院時薬剤情報サマリに対する返書などの件数を数えたところ、年間400件以上に達していた。

在宅医療の実績も問われるが、平均して1人以上の患者を担当し、月2回以上訪問していれば満たせる程度の要件でハードルは高くない。進行堂薬局本店も常時数人の在宅患者を担当しており、患者と関わっていれば自然に在宅医療を受け持つ場面は出てくるという。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

品を販売するエリアを設けるなど、昔ながらのパパママ薬局の雰囲気を色濃く残している。

現時点で認定取得によるメリットがあるとは考えていない。地域連携薬局をことさらに大きくア

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

薬局薬剤師の権限拡大を

今後の目標として由香里氏は「医師と討議しながら患者の医療に貢献できる薬局や薬剤師を目指す」と語っている。

現在の地域連携薬局にはあまりの魅力を感じていない。「地域連携薬局を認定する仕組みを設け、薬局や薬剤師がその地域でより機能を発揮できるようにしたい」と語っている。

例えば、地域連携薬局であれば、緊急避妊薬を医師の処方箋なしで販売できるようなしてほしいという。現在は医師の処方箋が必要で、多くの場合、医師は診察しその場

で服薬させるため処方箋は外に出てこない。地域の医療インフラの一つである薬局が十分に活用されていないのが現状だ。

このほか、処方箋必需時に患者情報を十分に把握できる仕組みが全国で整備されれば、薬剤師は今以上に力を発揮できると期待する。「薬剤師には外してもいいのではないかと」と語っている。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。



進行堂薬局本店



管理薬剤師の竹内由香里氏

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

「認定取得については、東住吉区薬剤師会副会長を務める立場から、自ら取得したいはず」と回答できる」との實務的な理由が大きい。

薬学ゼミナール生涯学習センター

～タスクシフティングを目指して～

超デキるかかりつけ薬剤師プログラム開講中

(筑波大学 × 薬ゼミ産学共同研究開発 総合診療科 前野哲博先生監修)

10月17日(日) 池袋教室、他6教室でLive配信(予定)

薬剤師が知っておきたいアルコールの知識とその対応

筑波大学 医学医療系 地域総合診療医学 准教授
筑波大学附属病院総合診療科 吉本尚 先生

11月7日(日) 池袋教室、他6教室でLive配信(予定)

薬剤師にも役立つ口腔ケアの知識(仮)

九州大学大学院歯学研究院
口腔顎顔面病態学講座 口腔顎顔面外科学分野 大山順子先生

一般社団法人 薬学ゼミナール生涯学習センター

薬ゼミ 生涯学習

http://www.yakuzemi-shougai.jp

